

協働のまちづくり 第43回

これまで、そして、これから

協働の「波」次々に 地島：潮風の中の交差点 その3(最終回)

協働のまちづくりの「現場」として存在感を増す地島。いくつかの取り組みを通して、この島の「いま」を見てきました。では、島の人たちは「これから」をどう考え、どんな未来図を描こうとしているのでしょうか。最終回はそのあたりを訪ね歩いてみました。

■問い合わせ先 市民活動交流室 ☎(36)0311

ピンチをチャンスに!

8月28日にオープンした「じのしま漁師食堂」。店長は漁協支所長の児島久幸さん(52歳)です。「いらっしやいませ!」の聲が、まだ初々しい児島さん。

この島が好き

土曜日の昼前、地島小学校の運動場に6人の子どもたちがいました。学校は休みの日なので、近づく全島運動会に備えて一輪車の特訓です。島の子は1人、あとは漁村留学生の子どもたち。島外から来て、島を見るとうなづきの声を聞いてみました。

「もうかろうなんて全く眼中にないんです。ここまでたどり着くので精いっぱいでした」と開店までの難航ぶりを語るそばから、料理を担当する女性たちが「ここまで、よう来たよね」としむじみ声をかけます。神湊との新航路開設が迫る中で「島には食事を提供する所さえない」のが現状でした。児島さんたちは「このピンチを、逆にチャンスに変えよう」と考えたのです。漁協婦人部を中心に、島の人々で議論したのが何回になったことか。そして結論は、「とに



休みの日に小学校で楽しく遊ぶ子どもたち

「はーい!」。全員が手を挙げます。「どんなところが好き?」「島の人たちがいいけん」「大事にしてもらいよる」。意表を突かれたような答えが返ってきました。島には漁村留学生を育てる会があります。会長は岡山幸一さん(50歳代)。「島から子どもの声がなくならないか。島のみんながそれを思っています。子どもは島の宝ですけん」と岡山さんはきっぱり。学校で聞いた子どもたちの声と岡山さんの言葉が見事に響き合っているようでした。

次の世代につながる

「そうなんですよ。今の世代のわたしたちが、責任を持って次の世代にこの島を譲り渡していくこと。そのためにできることは何でも取り組まなくては」と児島智枝子さん(50歳代)。冒頭の漁師食堂を仕掛けた女性グループの一人です。数年前に「ささえの会」を結成し、めかぶやワカメ、ツバキ油など島の自

慢の食材を生かした商品開発に取り組んでいきます。漁師食堂の挑戦も併せて、まさに「今できること」に全力投球が続きます。大牟田市から嫁いで27年になる児島さん。「協働のまちづくりとかもそうですが、ほかの土地では経験できないことがいっぱいあります。この島に来て一番良かった」と笑顔で話してくれました。

今回の取材を通じて思ったこと。それは、この島の人たちは、「島の価値」を高める仕事に取り組んでいるんだということでした。【終わりに】(市民参画等推進審議会 委員・松永年生)

秋の大島ぐる〜ん島めぐり2010

〜団体グループ向け〜 島民ガイド付き観光案内バスを利用しませんか



牧場、風車展望台の向こうに玄界灘を望む最高のロケーション

期間限定で、地元島民による「大島観光ガイド」が、島内の観光スポットを案内します。砲台跡・風車展望台など島北側の景勝地はもちろん、世界遺産暫定リストに登録された「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の中津宮、沖津宮遙拝所も案内します。所要時間は約1時間30分で、移動手段はマイクロバスです。ぜひこの機会に、魅力いっぱいの秋の大島に来てください。

- 期間 11月30日(火)まで
- 時間 10:15~11:45(予定)
- 案内コース(予定) 大島港ターミナル~沖津宮遙拝所~砲台跡・風車展望台~御嶽山展望台~宗像大社中津宮~大島港ターミナル
- *「秋の大島昼膳」の予約者は、昼食場所までマイクロバスで送迎します
- 移動手段 マイクロバス
- 応募資格 10人以上の団体・グループ(最大20人まで)
- 料金
 - ▽中学生以上=1,000円/人
 - ▽小学生=500円/人
- 申込締切日 希望日の1週間前
- *詳しくは問い合わせを(電話の受付時間は、8:00~18:00まで)

参加者限定特典!「秋の大島昼膳」はいかがですか

「ぐる〜ん島めぐり」の参加者に限り、大島島内の旅館、民宿、食事処の協賛店が、秋の大島の味覚がぎっしり詰まったお得な昼食「秋の大島昼膳」を特別価格1,500円で提供します。希望者は、観光ガイドと一緒に予約してください。



■申込先 大島観光案内所 ☎(72)2226

宗像市消費生活センター 転ばぬ先の杖 ☎(33)5454

パソコンの請求画面が消えない ワンクリック請求が急増!



ではんぴちゃん

インターネットでゲームサイトを利用中、次へと進んでいくと、いきなり「登録完了」になり、5万円を請求する画面が表示されて驚いた。

「そうなんですよ。今の世代のわたしたちが、責任を持って次の世代にこの島を譲り渡していくこと。そのためにできることは何でも取り組まなくては」と児島智枝子さん(50歳代)。冒頭の漁師食堂を仕掛けた女性グループの一人です。数年前に「ささえの会」を結成し、めかぶやワカメ、ツバキ油など島の自

消費生活センターに寄せられる相談の中で、一度クリックしただけで登録されてしまう「ワンクリック請求」に関する相談が後を絶ちません。

芸能人情報サイトにあった広告をクリックしたら、突然、アダルトサイトにつながり、8万円を請求する画面が表示された。あわてて右上のXボタンで閉じようとしたが操作できないので電源を切った。その後、パソコンを起動するたびに請求画面が表示されるようになり、支払期限までの日数も表示される。支払うまで消えないのか?



まず、事業者は「申し込み」「確認」「訂正」できる画面を用意する必要があります。このような確認表示がない場合は、電子消費者契約法で契約が無効となり、支払う必要はないので請求は無視しましょう。

事例2の場合、完全に復旧するためには、システム復元か初期化することが必要です。コンピュータウイルス110番のホームページで、復旧方法の具体的な手順や被害に遭わないための予防策などが紹介されているので参考にしてください。

多重債務電話相談

■県弁護士会 毎週土曜日 10:00~13:00 *祝日は休み ☎092(721)6778	■福岡財務支局 毎週月~金曜日 9:00~17:00 *年末年始、祝日は休み ☎092(411)7291
---	--

コンピュータウイルス110番(IPA)独立行政法人情報処理推進機構 || <http://www.ipa.go.jp/>

【おわび】広報紙9月15日号17ページ「協働のまちづくり第42回」の中で、年齢に誤りがありました。おわびして訂正します。〈正〉前田浩昌さん(44歳) 〈誤〉前田浩昌さん(54歳) ■問い合わせ先 市民活動交流室 ☎(36)0311